

## 整理番号 2 1

### 実施年度

令和4年度（事業期間 令和4年7月～令和5年2月）

### 事業名

解析カメラを活用した筑波研究学園都市歩道部の現地動態調査及び歩道部  
ボラードの設置方針検討

### 提案者

茨城県（土浦土木事務所）、つくば市

### 課題及びねらい

筑波研究学園都市の幹線道路等の歩道には、車両等との接触や誤侵入防止のため、多くの箇所にボラードが設置されている。これらの箇所では、設置間隔や高さなどに起因すると思われる課題が見受けられるため、適切なボラードの配置に向けた設置基準を検討する。

### 期待される効果

- ・危険性が潜むボラードの改修・撤去による円滑な通行の確保
- ・地区内の統一感があるボラードの設置

### 実施概要

- ・学園都市内のボラード設置地点 1 1 箇所でビデオカメラを使用し動態を調査。
- ・動態調査の結果を踏まえ、ボラード設置の在り方を検証し「ボラードの設置方針（案）」を作成。

動態調査画像

オートバイが  
歩道に侵入

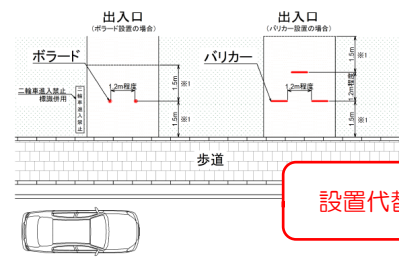


自転車がボラードを  
直前で回避



ボラードの設置方針（案）の設置例

車両進入禁止の公園等施設



### 検証結果

- ・動態調査により、オートバイによる歩道への侵入や、自転車がボラード直前で回避するなど、現状の問題点を把握することできた。
- ・設置目的別のボラード配置例、設置間隔や高さ等の設置指針（案）を取りまとめた。